

Photo Paper

vol. 01

インクジェットペーパーを選ぼう

みなさん「写真」はなににプリントしていますか？普通紙と光沢紙にプリントしたものを比べた時にその品質に違いがあるように、「どの紙にプリントしたか」で写真表現は変わります。あなたの写真に最適なペーパーはなにか、一緒に探していきましょう。

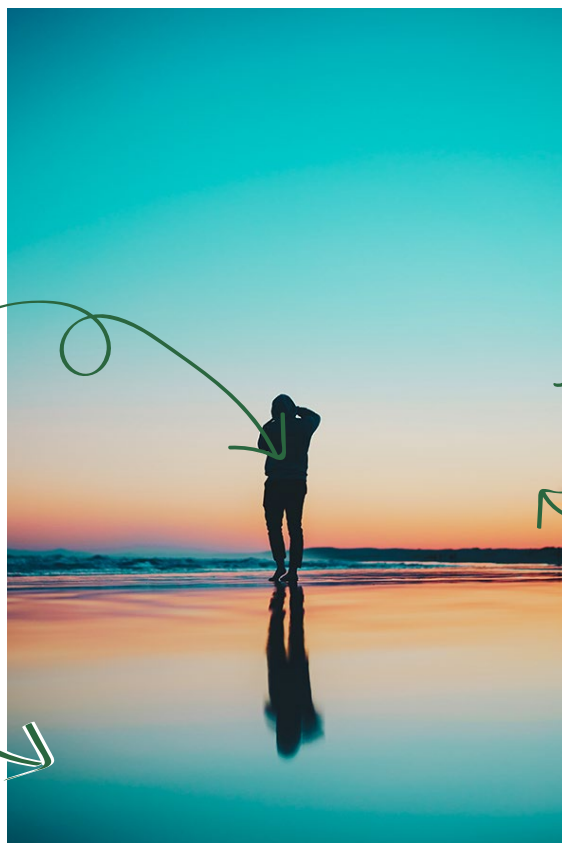
はじめに

写真用と言われるインクジェットペーパーはたくさんの種類があり、その数は 200 種類以上とされています。重要なのは、ペーパーによってそれぞれ得意分野が違うこと。まずはあなたの写真で「一番に何を（どこを）表現したいのか」を考えてみてください。

優しい雰囲気？
それとも
華やかに仕上げる？

シャドウは
つぶれてもいい？

彩度を鮮やかに？



階調の繋がりを
重視したい？

絵葉書のような
印象にする？

クライアントから
「スタイリッシュに」と
指示があった！

悩んだらまず「プリント」も OK

イメージがなかなか掴みにくいときは、まずコストパフォーマンスの良いインクジェットペーパーにプリントしてみるのもおすすめ。ペーパーは①光沢紙 ②マット紙 の2種類に限定して、できる限り仕上がりサイズに近い大きさにプリントしましょう。

まずはこの2種類でお試し！



光沢

スタジオ
グロッシー 200gsm



マット

スタジオ
グラフィックマット 120

vol.01 インクジェットペーパーを選ぶ

1 まずは「光沢紙に合うか」「マット紙に合うか」考えてみよう

光沢紙とマット紙を考えたとき、まず見た目の光沢感について考える方が多いでしょう。実はこのふたつを比較する上で大切なことがもうひとつあります。それは「色を再現する領域のちがい」です。一般的に色再現域は、光沢紙 > マット紙。そのため「彩度の高い色」「高い濃度」「豊かなグラデーション」を求める方には光沢系のペーパーをおすすめします。

光沢紙の特徴

色再現域が広いいため、鮮やかな色もプリントできます。

色再現域は「色の繋がり」にも影響します。階調豊かな表現は光沢紙に軍配。

いわゆる「写真らしい」表現。光沢のクオリティで印象が大きく変化します。

色再現

階調

表現

マット紙の特徴

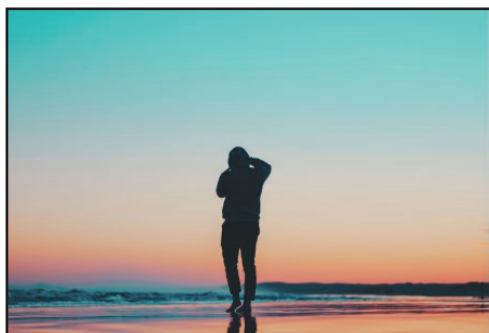
色再現域が光沢紙よりも狭いので、鮮やかな色は若干沈んでしまいます。

特にシャドウや色の濃い部分のグラデーションは暗めに仕上がります。

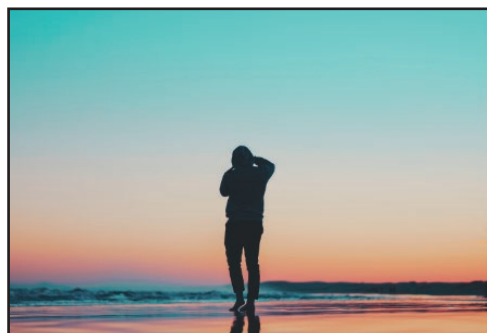
写真が持つ空気感や雰囲気マッチすると絶大な力を発揮します。

! 「色域内」の色はマット紙でも再現可能

※マット紙のスペックによります



光沢紙へのプリントシミュレーション。カラーも階調も鮮やかに再現。



マット紙でも色域内の色はきれいに表現できます。人物が若干つぶれた印象に。

※Adobe Photoshopでのシミュレーションイメージ

2 撮ったときの情景や伝えたい思いからペーパーを選ぶことも◎

ペーパーのスペックや色再現からペーパーを選ぶだけでなく、例えば「冷たい空気」を表現するために光沢紙を、「暖かい気持ち」を載せるためにマット紙をセレクトすることも間違いではありません。

> 更に詳しい情報は、Vol.2以降に特集します。

お問い合わせはこちらまで

ジェットグラフ株式会社
<http://www.jetgraph.jp/>

本 社：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-6-2
営業所：東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡
Mail：support@jetgraph.jp